

特集記事はその時々で重要と思われるテーマについて学術誌委員会で設定し、そのテーマに関係の深い専門家に寄稿をお願いしています。テーマの設定は学術誌委員会での検討を経て行いますが、会員の皆様からのリクエストも受け付けています。もし希望するテーマがあれば、学術誌委員会までお寄せください。

投稿論文等は査読付のもの（論文、研究ノート、事例研究）と査読なしのもの（事例報告、政策紹介、解説、書評、調査報告など）があります。研究成果を発表する場として、有用な情報を受け取る場として、引き続き学会誌をご活用ください。査読は投稿論文の分野に近い専門家（会員、非会員問わず）に依頼するため厳しい評価が返ってくるケースも多いですが、「産学連携学」の発展に向けた総合研鑽の場としてぜひ挑戦を続けていただければと思います。また会員の皆様におかれましては、学術誌委員会から査読の依頼があった場合にはご助力をいただければ幸いです。

（学術誌委員長 殿岡 裕樹）

当メールニュースではイベントのお知らせや公募情報等、
産学連携に関する情報をお流しいたします。
会員の皆様への情報の配信をご希望の方は、
産学連携学会事務局（j-sangaku@j-sip.org）までご連絡ください。
バックナンバー：http://www.j-sip.org/mail_news.php